



挑 戦

日立一高附属中学校
第2学年だより
3月22日発行

一歩ずつ前へ



平和通りの桜もほころび始め、日ごとに春の息吹が感じられるようになってきました。

さて、先月末に行われました授業参観並びに学級懇談会では、多くの保護者の皆さまにご出席いただきましてありがとうございました。今年度はコロナの影響で授業参観が実施できずにいましたが、最後に、お子様の英語でのプレゼンテーションの様子をお見せすることができて良かったと思います。総合の学習では、サイエンスリテラシーでも1年生に向けて研究発表を行いました。どちらの学習も、数か月かけて自分たちのアイデアを形にし、工夫して分かりやすく伝えようとして取り組んできました。試行錯誤しながら、友達と協力し合って活動することを通して、また一歩成長できたのではないかと思います。

いよいよ4月からは最高学年となります。一人ひとりがそれぞれの夢や目標に向かって一歩ずつ前へ進んでいけるよう、今後も精一杯支援して参ります。保護者の皆さまには、1年間様々な面で大変お世話になり、ありがとうございました。2学年職員一同、心より感謝申し上げます。

◆附属中生と難関大学合格者との座談会

3月16日に、一高3年生の先輩方との座談会を実施しました。東大や医学部など、難関大学を合格した身近な先輩方からのお話は、生徒たちにとって、とてもいい刺激になったようです。生徒の感想を一部紹介します。



- ・頭の良い人たちの普通というのは、とても高いものだなと実感しました。私もコツコツと今のうちから努力して、先輩のようなレベルになれるようにしたいです。
- ・油断せずに勉強したいと思いました。集中力を上げる、モチベーションを上げる方法を自分にも取り入れたいと思いました。
- ・勉強のしかただけではなく、睡眠時間など生活面のことも知ることができて、自分の生活から良くしようと思いました。
- ・難関大学は、才能と中学時代のトップの学力がないと受かれないのかと悩んでいたのですが、まだまだ自分にもチャンスがあると今回の座談会を通して知ることができ、未来に希望をもつことができました。

2学年の先生からみんなへのメッセージ

進級おめでとうございます。共に過ごした1年間はとても幸せでした。来年度は、最上級生としての意識を高くもって生活しましょう。今までの経験を活かした言動ができるとういことです。成長したみなさんならできると信じています。そして、自分も仲間もよりよく生活するために、自分にできることや自分がやりたいことを一生懸命やってください。私は、今この瞬間を真剣に生きることが未来の幸せにつながると信じています。
1組担任 椎名 慶典

赴任1年目で、市町村立の中学校とは違う環境に慣れながら、数学担当と2組担任としてできることを一つずつ取り組みました。附属中生徒がもつ学習意欲の高さと理解する速さには、驚きの連続でした。次年度は、生徒がさらに成長できるように、授業内容や学級活動などを考えていこうと思います。1年間、大変お世話になりました。
2組担任 大久保 博紀

進級おめでとうございます。今年度は、感染症予防のためにいろいろ制限された1年でした。本来は活動の中心になって活躍するはずの2年生が、チャンスに恵まれず、歯がゆい思いをしたこともあると思います。そんな中、ブリティッシュヒルズの宿泊語学研修で、英語を使って生き生きと活動する皆さんの姿を見て、本当にうれしく頼もしく感じました。はじける笑顔がたくさん見ることができました。いよいよ3年生になります。持っている力を発揮して、さらに活躍の場を広げていきましょう。
学年副担任 中村 秀子

卒業した3年生からのバトンを引き継ぎ、附属中最高学年の年を迎えましたね。入学してからの2年間で、仲間と共に様々な経験を積み、しっかりと土台を固めてきたと思います。次はその上に立ち、一人ひとりがさらに視野を広げて、いろいろなことに挑戦していきましょう。新たな自分を生み出すのは自分自身です。失敗を恐れず、変化を楽しむ気持ちで前に進んでいってくださいね。

学年主任 大田 真知子

